寺報

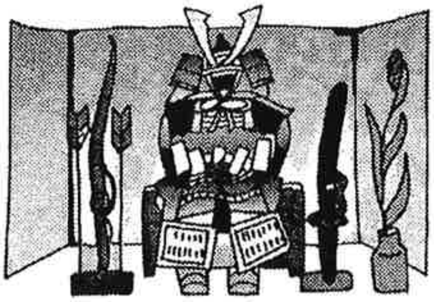
No.633
令和2年5月

蓮華寺 発行

御聖訓

法華経は種のごとく、仏は植え手のごとく、衆生は田のごとくなり。

『曽谷殿御返事』



（解　説）

津軽地方で、この時期に忘れてならないのは『田植え』です。

いくら機械化が進んだとしても、みな労力を惜しむ事なく、我々の生命を維持するお米を作ってくれる農家の人達の仕事は大変なものでしょう。

お米になる迄に八十八の手間がかかるところから、この字が出来たという事も納得が出来ます。

日蓮大聖人は、お釈迦様が苦労しまして、我々の心に法華経の種を植えて下さったとお説きになります。ですから、素直にその種が苗となり、やがて実になり収穫が出来るように育てていければ、何も問題はないのです。

しかしどうでしょうか、我々はそのせっかく植えて戴いた種の事を忘れてしまい、手入れをする事なく苗の段階で枯れさせてしまっているのです。

我々は、これからも人生の色々な苦悩に立ち向かっていかなければなりません。

その為にも法華経・お題目のお力をお借りし、しっかり信仰する事が大事なのです。

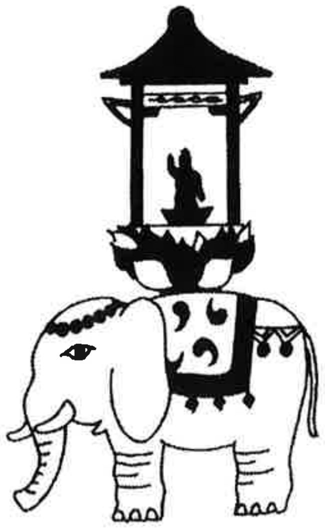
どうか、皆様も今一度お気付きになり、人生を枯らす事なく実り多きものにし、更に信仰の種を次世代に受け継いでいきましょう。

しゃく　そん　ご　こう　たん　え
釈尊御降誕会
（花まつり）

五月十三日（水）

午後一時より

於：大本堂



＊お釈迦様のお誕生日、甘茶の日です。

＊皆様で、甘茶をかけお祝いしましょう。

＊お供物も受け付けています。

(注)法要は厳修しますが、ご参拝は各自ご自由に。

予言者のお言葉

お釈迦様がお生まれになった時、予言者のアシタ仙人はそのお姿を見まして、「この方は無上の人であり最上の人であります。」と語った瞬間、涙を流し始めました。

回りの人達は何事かと思い尋ねますと、アシタ仙人は「この方は、やがて悟りを得て仏陀となるでしょう。そして、多くの人々を慈しみの心を持って救い、また素晴らしい教えを説いて人々の煩悩を打ち砕く事でしょう。しかし残念ながら私の命はもうそう長くはないのです。私はこの仏陀の出現に遭う事なくこの世を去る事を悲しんでいるのです。」と、お答えになったのです。

こうして、一族に大きな喜びをもたらして山に戻りましたアシタ仙人は、自分の甥のナーラカに向い、お釈迦様が悟りを得たら必ずお会いし、その教えを聞き、清らかな生涯を送るようにしなさいと勧めたという。

やはり、お釈迦様には誕生の時より既に計り知れないお力が備わっていたのです。

七面大天女

身延山のご草庵（家）から少し昇った場所に大きな石があり、そこで日蓮大聖人がいつものように説法をしていますと、この辺りでは余り見かけた事のない容姿端麗な女性が毎日聴聞に訪れていました。

回りの弟子や信者達が不審を抱いて見ていますと、大聖人はその女性に「もう皆に本当の姿を見せておやりなさい」とあたかも以前より正体を知っているかのように、そばにあった花びんを手渡しました。

その花びんの水を一滴手のひらに落しました女性は、たちまち『龍のお姿』に身を変じ「私はこの先の七面山に住む七面天女と申します。ここで日蓮大聖人様のご説法に感激し、今後法華経の守護神として身延山をお護りし、更にお題目を唱える人々の為に、心の安らぎと満足を与えます。」とお誓いになり、飛び立って行ったのでした。

この伝承のもと、その後弟子・信者が七面山に登詣しお堂を設け七面大天女（七面大明神）をお祀りになったといわれています。

『蓮華寺聖徒団総会』中止のお知らせ

今年度も例年通り蓮華寺聖徒団・定時総会を開催する予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、参拝を受けて下さるお寺が見つかりませんでしたので、今年度は中止する事に決定しました。

毎年楽しみにしていた方には、大変申し訳なく心からおわび致します。

したがって、令和元年度の収支決算と令和二年度の収支予算は役員会の決議を以て決定させて戴きますのでご了承下さい。

なお決議されました報告書は、お寺の玄関の入口に置いてありますのでご覧下さい。

聖徒団の会員は毎年減りつつありますので、今後ともご協力をよろしくお願い致します。

蓮華寺聖徒団

団長　角田　堯淳

役員一同

檀信徒研修会のお知らせ

☆五月三十日（土）
聖典の読誦と唱題行

担当・・・住職上人

＊『聖典の読誦（三十分）と唱題行（三十五分）』

☆お題目は七百回以上唱えられます。

時　間：午後七時より
場　所：小本堂【イス席です】
持参品：聖典（事務所にて）・数珠

＊月一度の修行ですので、どうか皆様もこの機会を逃さず、お経とお題目を大きな声を出して心から唱えましょう。

＊ご自分の修行の為、懺悔滅罪（反省）の為、家族や友人の為、また仏様や先祖の供養の為、と各々の各自の目標に向い頑張って修行して下さい。

㈱研修会は休まず行いますので、ご参加は各自ご自由に自己管理のもとご参加下さい。

蓮華寺

『位牌壇』の募集！

◎お寺に『位牌壇』がありますと、毎朝必ずお題目が唱え続けられていきますので、皆様の御先祖や仏様が今後代々に渡り守り続けられていきます。

◎仏様の御命日に当る日に、諸用や旅行などで不在の時でも、ご予約戴ければ『位牌壇』の前に追膳をお上げしますし、またご依頼があればお経も唱えさせて戴きます。

◎特に、青森では冬期間、お墓参りが出来ませんので『位牌壇』がありますと、常にお寺にお参りが出来ます。

◎最近は仕事などの関係から、家族が地元に住めずに仏壇を維持出来ない為、『位牌壇』に位牌を預かり青森に帰省した時にお参りをする方達も増えてきていますが、それでも構いません。

◎現在空いています上位の位牌壇に上がりたい方には数がある限り無料でお譲り致します。
ですから、三席から特席にも上がれます。

詳細は事務所まで！

宗祖降誕八〇〇年慶讃
『東北教区大会』
開催延期のお知らせ

本年六月二十一日（日）に開催される予定でした、日蓮大聖人の八百回目のお誕生日をお祝いします東北六県による大法要が、今般の新型コロナウイルスの感染拡大を考慮しまして来年度に延期される事が決定されました。

長年に渡り、この法要を楽しみにしてお待ち戴いた檀信徒の皆様には、大変申し訳なく心からおわび申し上げます。

新たな開催時期は、現在日蓮宗宗務院との協議中という事で、まだ未定となっています。

今後、協議が終わり日時が決定しましたら、寺報やお寺の行事の中でお知らせしたいと思います。

速くこの新型コロナウイルスの感染拡大が終息します事を願いつつ、まずは宗務所からの通達事項を報告させて戴きます。

廣布山　蓮華寺

大本堂
『須弥壇』
『鬼子母神・妙見様御厨子』
『大黒様御厨子』
完成のお知らせ

今年六月二十一日に厳修される予定でした、日蓮大聖人の【御生誕】八百年記念の東北教区法要が、コロナウイルス感染拡大の影響で来年に延期されました。

しかし、本来その記念事業で、大本堂御寶前の前の『須弥壇』（前机）と両脇にお祀りしています『御厨子』の修復工事を計画していましたので、予定通り五月ついたちには完成します。

でも、こういう情勢ですので、魂入れはついたちの『盛運祈願会』の中で、参拝に来られた方々のみで執り行う事にしました。

ご寄付を戴きました皆様には申し訳ありませんが、どうかその旨をご理解戴きまして、その後各自ご自由に参拝して下さるようにお願いいたします。

なお、浄財の詳細は今後『寺報』にてご報告します。

「水子さん」のご供養

当山境内地の清掃も終えましたので、今年も新たに『水子観音様』専用の「風車」をご供養の為に奉納して下さい。

一体七〇〇円で、葉の部分に【供養・祈願】が書き入れる事が出来ますので、ご希望の方は事務所までお申し付け下さい。

また、当山では、この世に生を受ける事なく仏様の世界に旅立たれました水子さん、また早くに亡くなられた子供さんのご供養の為に、境内に『観音像』を安置しています。

この『観音様』の台座の中には、施主の名前を書き入れました「法名紙」が奉納出来ます。

各自、「水子」「子供」の戒名や俗名、また「水子一切の霊」などを書き入れてもらい、奉納して下さい。

★本堂で法要を行いご供養した後、「法名紙」を観音像の中に奉納する場合。【三万円】

★観音像の前で直接ご供養し、「法名紙」を奉納する場合。【二万円】

詳しくは当山にお問い合わせ下さい。

『霊　断』のおすすめ！

檀信徒の皆様で、日頃から何かお困り事や悩み事がありましたら、迷わず蓮華寺までご相談下さい。

日蓮宗に伝わる秘法『九識霊断法』にて、当山僧侶が解決、ご指導致します。

なお秘密厳守にて、宗旨宗派は問いませんので、お気軽にご相談下さい。

【ご相談料は、原則として一件につき三千円です】

『提灯』の急募！

当山で「鬼子母神大祭」「御会式」「お正月」の際に掲揚します『提灯』（トーロー）を限定で募集致します。

作成価格は八千円で年間の管理費が二千円となりますので、初年度のみ一万円となります。

『聖徒団会員』募集！

毎月ついたちの「盛運祈願会」の中で、住職上人が各会員の『家内安全』をご祈願致します。

その他、大本堂御寳前のお花、皆様にお配りする新聞【聖徒タイムズ】・寺報等の援助などに活用します。

会費・・・年額二、四〇〇円（月二百円）

五月の行事

一日（金）盛運祈願会　午後一時より
- 毎月のお守り【霊神符】の交換の日です。
- 必ずお勤めに参拝し、お題目とお経を唱え、感謝の気持ちを込めてお守りを交換しましょう。
- 聖典（お経本）と数珠は必ずご持参下さい。

十三日（水）日蓮大聖人のご命日　午後一時より
- お経（如来神力品第二十一（訓読・日本語読み）／如来寿量品第十六（真読・漢字読み））
- どなた様も、大聖人への御報恩を忘れずに参拝しお題目とお経を唱えましょう。

十三日（水）釈尊降誕会【花まつり】午後一時より

十九日（火）龍神様・七面様大祭　午後一時より

二十一日（木）甲子（きのえね）【大黒様の日】　朝のお勤め中

三十日（土）檀信徒研修会【唱題行】午後七時より

☆奉仕のお知らせ

十三日（水）花まつりの準備とお手伝い

◎教宣部男女・・・午前十一時より

※『花まつり』の行事は、大本堂で十三日講のお勤めの中で執り行われています。

どうぞ、ご参拝かたがたお手伝いをよろしくお願い致します。

十九日（火）龍神様・七面様大祭の準備とお手伝い

◎教宣部男女・・・午前十時より

＊当山客殿に於きまして、祭壇を設けて、行事を執り行っていますので、お手伝いをよろしくお願い致します。

奉仕部長・山田兼補　教宣部長・杉淵昌三

伝道部長・小野正春

(注)コロナウイルス感染拡大より、当山の『朝勤会』『檀信徒研修会』『盛運祈願会』『十三日のお勤め』また各年間の行事は、規模を縮小して執り行っていますので、どうかご参拝の方は健康に留意しまして自己管理のもと法要に参列して下さい。

龍神様・七面様大祭

五月十九日（火）

午後一時より

於：蓮華寺客殿

七面天女

＊龍神様・七面様の御神体（ごしんたい）、掛軸の御法楽（二千円）

＊一般御法楽（千円）、祈願（八百円）

＊御神酒、お供物も受け付けています。

＊祈願・御法楽をお申込みの方にお札（ふだ）を差上げます。

㊟法要は厳修しますが、ご参拝は自己管理のもと、ご自由にお願いします。